



会社名 B C C 株式会社
代表者名 代表取締役社長 伊藤 一彦
(コード番号: 7376 東証マザーズ)

「アバター共生社会企業コンソーシアムヘルスケア分科会」会長就任のお知らせ

当社はこれまでに大手 IT 企業とのネットワークを構築し、国内の医療・介護・企業の IT 化を推進するとともにヘルスケア・リビングラボ構想を日本全国に広めるべく高石市など自治体のヘルスケア・リビングラボ構築のサポートを行ってまいりました。そのような経緯も踏まえ、当社はアバター共生社会企業コンソーシアムにおけるヘルスケア分科会の会員企業となり、当社代表取締役社長伊藤一彦はヘルスケア分科会の会長に就任いたしました。

ムーンショット型研究開発制度は、我が国発の破壊的イノベーションの創出を目指し、従来技術の延長にない、より大胆な発想に基づく挑戦的な研究開発（ムーンショット）を推進する新たな制度です。

アバター共生社会企業コンソーシアムは、国立研究開発法人科学技術振興機構「ムーンショット型研究開発事業」目標1研究開発プロジェクト「誰もが自在に活躍できるアバター共生社会の実現」（プロジェクトマネージャー:大阪大学大学院基礎工学研究科 教授 石黒 浩、代表機関:国立大学法人大阪大学、以下「アバター共生社会企業プロジェクト」という）として、サイバネティック・アバター（遠隔操作ができる「身代わりロボット」、

以下「CA」という）による誰もが自在に活躍できる社会（アバター共生社会）の実現に向けて設立されました。同コンソーシアムでは、会員に向けて、アバター共生社会企業プロジェクトにおいて得られる CA に関連する研究成果を紹介するとともに、CA を活用した新しいサービスのコンセプト、サービスが成立するために必要な仮説などについて研究者らとともに検討する場を提供し、同プロジェクトに参画している研究者との共同研究を促進します。

<https://avatar-ss.org/members/company/index.html>

■「アバター共生社会企業プロジェクト」概要

アバター共生社会企業プロジェクトは、実現が困難かつ重要な社会課題等を対象とし、野心的な研究開発の目標(=ムーンショット目標)と実現構想を国が策定して研究開発を促進する、内閣府主導の「ムーンショット型研究開発制度」の一環となります。ムーンショット目標1「2050年までに、人が身体、脳、空間、時間の制約から解放された社会を実現」の実現に向け取り組んでいます。

以上